

各位

2026年3月31日

会社名 株式会社明豊エンタープライズ  
代表者名 代表取締役会長 矢吹 満  
(コード番号：8927 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役専務執行役員 安田 俊治  
(TEL 03-5434-7653)

## 2026年7月期 第2四半期 決算補足資料（質疑応答集）

この質疑応答集は、2026年3月17日に発表いたしました2026年7月期 第2四半期決算について、当社で想定していました質問と株主、投資家などの方々との質疑応答の主なものをまとめております。本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

**Q1 第2四半期累計の売上高が計画を若干下回っていますが、その理由と通期計画への影響を教えてください。**

**A** 売上高の若干の計画未達は、主に一部物件の引渡時期が当第3四半期以降へスライドしたことが要因です。各段階利益はいずれも計画を上回っており、販売活動の状況を含め、通期計画の達成へ向けては順調に進捗しております。

**Q2 第2四半期の業績修正を出しましたが、通期目標の上方修正は検討していますか。**

**A** 通期目標の達成に向けては順調に進捗しております。一方で、下期も多くの物件引渡を控えており、市場環境や金利動向を慎重に見極める必要があるため、現段階では期初予想を据え置いております。修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

**Q3 売却契約の解除に伴う違約金収入がありますが、一過性の利益に頼った目標達成ではありませんか。**

**A** 違約金を除外しても計画を十分に上回っており、一過性の利益に頼った目標達成ではありません。尚、当該物件につきましては、当第3四半期で既に引渡完了しております。

**Q4 東京23区では土地価格が上昇していますが、御社の用地取得環境にはどのような影響がありますか。**

**A** ご指摘の通り、都内を中心とした住宅用地の価格は引き続き上昇傾向にあり、取得環境は以前と比べて厳しくなっておりますが、当社では、東京都内23区の城南・城西エリアを中心とした地域特化のドミナント戦略により、情報やノウハウが集積できていることを強みとして、現時点では安定的な用地取得ができております。

**Q5 建築費の上昇は御社の収益性にどの程度影響を及ぼしているのでしょうか。**

**A** 建築費につきましては、資材価格や人件費の上昇を背景として、業界全体として高止まりの状況が続いておりますが、現時点では、当第2四半期の実績でお示しのとおり大きな影響はございません。当社グループ内に施工会社があることで、安定的な発注体制を維持するとともに、商品企画の最適化などを通じてコストコントロールに取り組むことができております。

【免責事項】当社が開示する資料に記載されている将来の業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

**Q6 賃貸セグメントの利益が大幅に改善した主な理由を教えてください。**

- A** 設備保証や付帯サービスの充実により入居者様やオーナー様の満足度が向上したことで、利益率の高いサブリース受託物件が増加したことが主な要因となります。今後もDX化を中心とした仕組み改善を図ることで、生産性向上に繋げ、更なる利益拡大を継続してまいります。

**Q7 株主優待制度の継続方針について教えてください。**

- A** 株主優待については、個人投資家の皆様を中心に、当社へのご理解を深めていただきつつ、中長期でご保有いただくことを目的として実施しております。配当を軸とした株主還元方針とのバランスを確認しながら、当面は現行制度を継続する方針です。

以上

## お知らせ

株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション機会を設けることを目的とし、IRサイト内に「Quick Answer」コンテンツを設置しています。多くの株主・投資家の皆さまからいただいたご質問や、当社からお届けしたい情報を公開しています。

クイックアンサー

## Quick Answer



URL : <https://meiho-est.com/ir/ir-qa/>

【免責事項】当社が開示する資料に記載されている将来の業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。